

研究戦略推進支援 ①政策情報等の調査・分析	初級
業績指標	
以下の条件の実績と経験を有する。	
①責任性 □担当者として対応した。	
②複雑性 以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績／経験を有する(結果への寄与度 10%以上)。 □1. 所属組織の研究分野とその特徴, 政策動向について, インターネットや関係者から情報を収集し, 調査・分析した。その結果を踏まえ, 外部資金等の募集に連動が予想される事項について, 上司や関係者と情報共有した。 □2. 関係者からの新たな知見を踏まえて, 政策情報等の調査・分析を行う環境づくりを組織的に行った。	
③重要性	
④学内外貢献 以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。 □1. 政策情報調査・分析結果について, 関係者へ情報発信を行った。 □2. 政策情報調査・分析や必要な知見について, 文書化を行った。 □3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。	
⑤その他	
業務遂行能力指標	
以下の条件の能力を有する。	
①事業 □自己の業務の所属大学における研究戦略の中での位置づけを理解している。	
②知識 □1. 所属組織・分野に関係する科学技術政策の概要を理解している。又は, 調査し, 理解することができる。 □2. 担当業務に関連する所属大学の主要な方針(ポリシー)・学内手続きを理解している。	
③実務 □1. 政策情報等の調査・分析業務に関する実務(例:政策情報等の収集・分析等)の基本的事項(例:実務全体の20~30%程度)を理解している。 □2. 前記1.に関連する業務上の課題を発見し, 上司の指導の下でその課題を解決することができる。	
④語学 □所属組織・分野に関連する英文の科学技術に関連する政策情報, FA レポート等について, 最低限の範囲で理解できる。	
⑤対人 □1. 関係者との間で円滑な議論や交渉ができる。 □2. 関係者の説明(例:政策情報やFA レポートに関する説明)を正しく理解することができる。 □3. 関係者から信頼を得て, 連携し, 協働できる。 □4. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。	
⑥その他 □複数の業務に適切な優先順位をつけ, 限られた時間を有効に活用し期日までに業務を遂行できる。	

研究戦略推進支援 ①政策情報等の調査・分析	中級
業績指標	
以下の条件の実績と経験を有する。	
①責任性 □ 主担当として対応した。	
②複雑性 以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する(結果への寄与度 30%以上)。 □ 1. 所属組織の研究分野とその特徴、政策動向について、インターネットや関係者から情報を収集し、調査・分析した。その結果を踏まえ、外部資金等の募集に連動が予想される事項について、上司や関係者と情報共有した。 □ 2. 関係者からの新たな知見を踏まえて、政策情報等の調査・分析を行う環境づくりを組織的に行った。	
③重要性 以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。 □ 1. 政策やFAのレポート等の情報を継続して収集、分析を行うことにより、適切なタイミングで所属組織の主たる関係者へ情報提供を行うことができた。 □ 2. 所属組織の主たる関係者、政策担当者、企業等と、課題検討・情報共有の場となるようなワークショップ等の議論の場を企画・実施する取り組みを通じて、政策策定プロセスへ積極的に関与することができた。 □ 3. 前記1. 2. の活動により研究力向上に向けた質の向上、規模の拡大を支援した。	
④学内外貢献 以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。 □ 1. 後輩(例:レベル初級)に対して政策情報調査・分析に関する助言と環境づくりを行った。 □ 2. 政策情報調査・分析結果について、関係者へ情報発信を行った。 □ 3. 政策情報調査・分析や必要な知見について、文書化を行った。	
⑤その他	
業務遂行能力指標	
以下の条件の能力を有する。	
①事業 □ 1. 自己の業務の所属大学における研究戦略の中での位置づけ(政策、他大学動向の把握を含む)を理解し、他者(上司、関係部署、研究者等を含む)へ説明することができる。 □ 2. 担当業務に関連する主要な学内の方針(ポリシー)・学内手続きを理解している。	
②知識 □ 1. 所属組織・分野に関係する科学技術政策の概要を理解している。又は、調査し、把握することができる。 □ 2. 所属組織・分野に関連する大学、産業界、研究コミュニティ、社会の動向を理解している。又は、調査し、把握することができる。 □ 3. 将来の円滑なプロジェクト実施を念頭に、実行時点で必要となる諸規定(例: 科学者・生命倫理、コンプライアンス規定、FAの研究経費の執行・会計に関する規定、利益相反等)の概要を、企画時点で理解している。 □ 4. 外部資金の運用に必要な法律(例: 補助金適正化法)、法令、規則、契約内容などを理解している。	
③実務 □ 1. 政策情報等の調査・分析業務に関する実務(例: 政策情報等の収集・分析等)の専門的事項(例: 実務全体の60~70%程度)を理解している。 □ 2. 前記1. に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。 □ 3. プロジェクト企画・申請・実施のための全体のスケジュールを把握し、所定の期日までに関係者が最善を尽くすことができるようプロジェクトメンバーの協力を得て、業務を進めることができる。	
④語学 □ 所属組織・分野に関連する英文の科学技術に関連する政策情報、FAレポート等について、概ね理解できる。	

⑤対人

- 1. 関係者(例:所属組織の上司やメンバー, プロジェクトメンバー, FA, 企業等)から信頼を得て, 円滑に情報収集, 意見交換ができる。
- 2. 関係者との間で円滑な議論や交渉ができる。
- 3. 関係者の説明(例:政策情報やFAレポートに関する説明)を正しく理解することができる。
- 4. 関係者から信頼を得て, 連携し, 協働できる。
- 5. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ, 限られた時間を有効に活用し期日までに業務を遂行できる。

研究戦略推進支援 ①政策情報等の調査・分析	上級
業績指標	
以下の条件の実績と経験を有する。	
①責任性 <input type="checkbox"/> 総括責任者として対応した。	
②複雑性 以下のいくつかのプロジェクト運営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する(結果への寄与度 50%以上)。 <input type="checkbox"/> 1. 所属組織の研究分野とその特徴、政策動向について、インターネットや関係者から情報を収集し、調査・分析した。その結果を踏まえ、外部資金等の募集に連動が予想される事項について、上司や関係者と情報共有した。 <input type="checkbox"/> 2. 関係者からの新たな知見を踏まえて、政策情報等の調査・分析を行う環境づくりを組織的に行った。 <input type="checkbox"/> 3. 政府の審議会等委員に対して、関連する会議で政策情報等の調査・分析に基づく大学側からの意見や提案を発信した。	
③重要性 以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。 <input type="checkbox"/> 1. 政策やFAのレポート等の情報を継続して収集、分析を行うことにより、適切なタイミングで所属組織の主たる関係者へ情報提供を行うことができた。 <input type="checkbox"/> 2. 所属組織の主たる関係者、政策担当者、企業等と、課題検討・情報共有の場となるようなワークショップ等の議論の場を企画・実施する取り組みを通じて、政策策定プロセスへ積極的に関与することができた。 <input type="checkbox"/> 3. 前記1. 2. の活動により研究力向上に向けた質の向上、規模の拡大を支援した。 <input type="checkbox"/> 4. 具体的案件の解決の提案を通じて、より機能的・体制的に充実した組織へ改編する提案ができた。 <input type="checkbox"/> 5. 政府の委員等との交流や、関係委員会での政策情報等の調査・分析に基づく、大学側からの意見や提案の発信を通じて、答申等に提案事項が盛り込まれた。	
④学内外貢献 以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。 <input type="checkbox"/> 1. 後輩(例:レベル初級・中級)に対する政策情報調査・分析に関する助言と環境づくりを行った。 <input type="checkbox"/> 2. 政策情報調査・分析結果について、関係者へ情報発信を行った。 <input type="checkbox"/> 3. 政策情報調査・分析や必要な知見について、文書化を行った。 <input type="checkbox"/> 4. 政策情報調査・分析結果の情報発信を通じ、学内の認識度を高めることで、より機能的・体制的に充実した組織へ改編する提案を行った。 <input type="checkbox"/> 5. 政府の主要な審議会、FAのレポート等の作成に当たり、自身が有識者・ステークホルダー等として位置づけられ、当該委員会等に対して積極的な情報発信を行った。	
⑤その他	
業務遂行能力指標	
以下の条件の能力を有する。	
①事業 <input type="checkbox"/> 1. 自己の所掌業務の所属大学における研究戦略の中での位置づけ(政策、他大学動向の把握を含む)を理解し、他者(上司、関係部署、研究者等を含む)へ説明することができる。 <input type="checkbox"/> 2. 所掌業務に関連する主要な学内の方針(ポリシー)・学内手続きを理解している。 <input type="checkbox"/> 3. 所掌業務上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。	

②知識

- 1. 所属組織・分野に関係する科学技術政策の概要を理解している。又は、調査し、理解することができる。
- 2. 所属組織・分野に関連する大学、産業界、研究コミュニティ、社会の動向を理解している。又は、調査し、理解することができる。
- 3. 将来の円滑なプロジェクト実施を念頭に、実行時点で必要となる諸規定(例: 科学者・生命倫理、コンプライアンス規定、FAの研究経費の執行・会計に関する規定、利益相反等)の概要を、企画時点で理解している。
- 4. 外部資金の運用に必要な法律(例: 補助金適正化法)、法令、規則、契約内容などを理解している。

③実務

- 1. 政策情報等の調査・分析業務に関する実務(例: 政策情報等の収集・分析等)の高度に専門的な事項(例: 実務全体の90%程度)を理解している。
- 2. 前記1.に関連する業務上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。
- 3. プロジェクト企画・申請・実施のための全体のスケジュールを把握し、所定の期日までに関係者が最善を尽くすことができるようプロジェクトメンバーに適宜提言して、業務を進めることができる。

④語学

- 所属組織・分野に関連する英文の科学技術に関連する政策情報、FAレポート等について、正しくかつ迅速に理解できる。

⑤対人

- 1. 関係者(例: 所属組織の上司やメンバー、プロジェクトメンバー、FA、企業等)から信頼を得て、円滑に情報収集、意見交換ができる。
- 2. 関係者との間で円滑な議論や交渉ができる。
- 3. 関係者の説明(例: 政策情報やFAレポートに関する説明)を正しく理解することができる。
- 4. 関係者から信頼を得て、連携し、協働できる。
- 5. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ、限られた時間を有効に活用し期日までに業務を遂行できる。